

臨時レポート

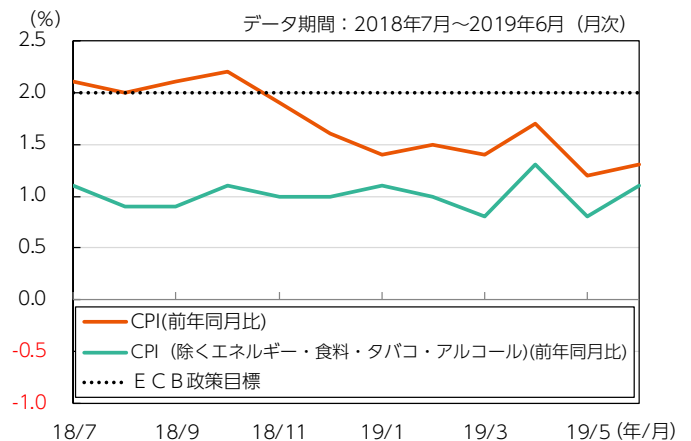
ECB理事会 更なる緩和姿勢を示す

景況感の悪化傾向が続く中、利下げを含む追加緩和を辞さない姿勢を示す

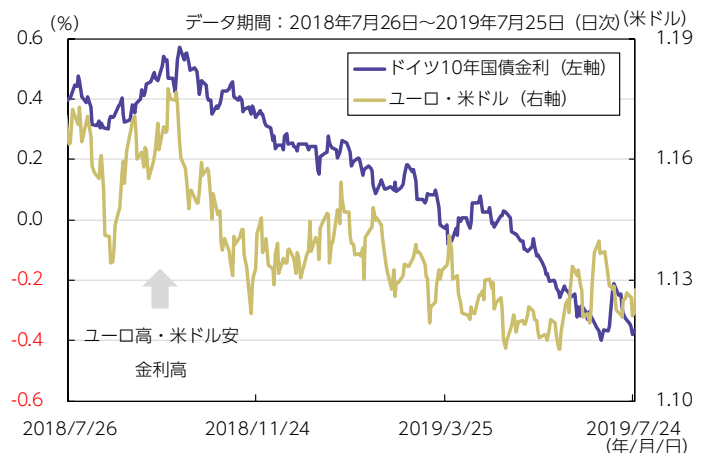
- ▶ 欧州中央銀行(ECB)は政策金利を据え置いたものの、利下げを含む追加緩和を示唆するなど、緩和的な姿勢を鮮明にした。
- ▶ 市場は利下げを織り込む動きを見せており、ECBの政策運営に注目が集まる。

- ECBは7月25日の定例理事会で、主要政策金利を現状の年率0.00%に据え置きました。金利水準については「少なくとも2020年半ばまでは、現行金利水準もしくはより低い水準に据え置く」とフォワードガイダンス(将来の金融政策を約束する手法)の文言を修正しました。また、「フォワードガイダンスの強化、マイナス金利の影響緩和の措置、新たな資産購入」などについての検討を開始するなど、これまでよりも緩和的な姿勢を示し、今後利下げを含む追加緩和の可能性を強く示唆しました。記者会見でドラギ総裁は、「直近の経済指標は、成長がやや鈍化していることを示している」とし、物価については「インフレ率は全般に弱いまま、インフレ期待を示す指標は低下している」との見解を示しました。25日の会合を受けて、市場参加者の多くは次回会合(9月)で預金ファシリティ金利(3つある政策金利の1つ)の利下げを予想しているようです。
- 7月24日にユーロ圏の7月製造業PMI(購買担当者景気指数：速報値)が公表され、46.4と前月(6月)から1.2ポイントの低下となり、約7年ぶりの低水準となりました。6ヵ月連続で好不況の境目となる50を割り込んでいます。またドイツ製造業PMIは7月43.1と市場予想(45.2)を大きく下回る結果となりました。ユーロ圏製造業の景況感悪化が鮮明となっています。
- 7月17日に欧州連合統計局から発表された6月のユーロ圏の消費者物価指数(CPI)<改定値：対前年同月比>は+1.3%と5月から0.1ポイントの上昇、ECBが重視するエネルギー・食料・タバコ・アルコールを除く指数<同>も+1.1%と5月から0.3ポイント上昇しましたが、引き続きECBの政策目標を下回っています(図表1)。5月失業率は7.5%(季節調整済み)となり前月(4月)から0.1ポイント改善しました。引き続き雇用環境は良好に推移しています。

図表1：ユーロ圏消費者物価(CPI)



図表2：ドイツ10年国債金利とユーロ・米ドル



出所) 図表1～2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

- 短期金融市場の状況から利下げ確率を算出すると、次回会合での利下げ確率は80%程度まで上昇しており、市場は利下げを織り込みつつあると思われます。欧州債券(ドイツ)市場は、会合の結果が想定内の内容であったことから、反応は限定的でした。為替もややユーロ高となったものの反応は限られました(図表2)。欧州の景況感悪化が鮮明となる中、次回会合での利下げを含む追加金融緩和政策の有無や、今後の日米の金融当局の政策運営などにも市場の注目が集まると考えられます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>